

## 第 19 回タウンミーティング（地域自治会意見交換会議） 議事要旨

日時：平成 30 年 2 月 26 日（月）午後 2 時～

場所：千里丘市民センター 多目的ホール

地区名：山一、南山田、東山田、千里丘

参加者数：住民 16 名

会議冒頭、市長より「吹田市の今」と題し、データを用いて市の現状を説明した後、自由な意見交換を行った。

### 意見交換の概要

東山田	<p>1 千里丘中学のところの歩道が、ユニハイムのマンションのところで切れている。吹田東高校の敷地と隣接しているので、その敷地を削って歩道を拡幅できないか。その場合は、その土地を盛り上げる必要があるが、歩道ができれば安全の確保ができる。昨年末に吹田東高校の工事の説明会があり、そこで府がそれは市道であり、市の問題であると言った。</p> <p>2 また、新芦屋下の井戸のところ大きな穴が開いており、子どもが行ったり来たりするので危ない。</p>
市長	<p>1 現段階では市道であるが、府の所有である東高校の土地を削って、市道を拡幅できないかと、府に対してその場でおっしゃっていただければよかったですのではないかと。しかし、府も協力的ではあるが、そこまではできないと言っているようである。グリーンウォークという緑色に塗った歩道があるものの、車社会になる前にできたまちで、歩道が少ない。スクールゾーンにして車を通さないとか違う方法を探さないといけない。</p> <p>2 私道で市に移管しておらず、私有財産ということで、例外的な対応として、市が個人と水面下で交渉している例もあるが、聞いてもらえない例がある。税金を使うので不法に高いお金は払えない。しかし、交通事故が起こってケガをするのは吹田市民である。その責任は近いうちになんとかしたい。</p>
南山田	<p>1 小学校給食の調理場には回転釜しかない。焼き物器（スチームコンベクション）の予算を計上しても、予算が通らないと聞いている。導入してほしい。</p> <p>2 中学校給食は、献立はいいが、デリバリー方式で余りに冷たい。小学校のような温かくおいしい給食にならないか。全国では 90% 近くが中学校給食であると聞いている。</p>
市長	<p>1 焼き物器については、<u>学校給食の担当室課に確認する（※1）</u>。特別教室の空調など予算はとっている。前回の総合教育委員会議のテーマが中学校給食であった。</p> <p>2 給食は大きなハード施設を伴い、職員も雇う必要がある。給食室を作らず、小学校の調理室で作る親子方式で中学校給食が出来る場合もある。学校には規模の大小があるが、子ども中心である。当面、多様性を尊重していき、出来るところから始める話も出ている。</p>

東山田	地域の活動は納涼大会、体育祭等、30数年前から同じ形で続いている。今後30年は、子どもの数が圧倒的に減少し、単身世帯が増え、大前提が変わり、このまま連合自治会の活動が続くかどうか。定年になれば地域活動に参加するかと言えば、そうでもなく、このまま加入率が落ち、必要なイベントが出来なくなる。5年後、10年後どうするか。
市長	例えば、ミリカシティは現在、若く、活気がある。西山田は昔、子どもだらけで、役員は若く、同じ風景であった。しかし、今の西山田には子ども会がない。人工的な街は一斉に年をとる。自治会の加入率は分譲マンションであれば高いが自分の意志で入っていない。例えば交野市はPTAなどをやれば終わりではなく、役員を全員つなげ、加入率が9割である。枚方市もそれに近い。これからは、そういうのもありではないか。上の世代がしっかりしているから団塊の世代は首をすくめている。スプラッシュパーティーなど我々の世代が吹田まつりを劇的に変えた。変わる予感はある。
東山田	今年の納涼祭には立命館大学のよさこい等、新しい風を取り込んでいる。新しい担い手を巻き込まないとじり貧になってしまうと感じている。
市長	今の自治会の形は戦後から続いてきている。今、ボランティアやNPO等新しい形のコミュニティが造成されつつある。反対意見が出るくらいのことと新しい担い手は入ってこない。摩擦を恐れずに新しいことに取り組んでほしい。
千里丘	<p>1 前回のタウンミーティングで、千里丘中の宅地開発について、吹田すまいる条例で厳しくチェックしているという話があった。しかし、住民の中には多くの不安がある。この計画地には出口が1か所しかない。法令上は問題がないとしているが蛸つぼ型で逃げ場がなく大変危険だと感じており、防災の観点でまちづくりをするのが行政の役割ではないか。</p> <p>2 ルネの前に道路を作るという話もあったが実現は難しいとされているので市からの指導もお願いしたい。</p> <p>3 湧水の対策についても考えて開発協議をしてほしい。</p>
市長	<p>1 消防法は非常に厳しく、それらをすべてクリアしないと開発許可は出来ない。</p> <p>2 地域からの要望を行政側からのお願いとして業者にすることはできる。</p> <p>3 湧水の対策については対応できており、開発許可が出ているはずである。</p>

(※1) 保健給食室に確認したところ、焼き物器（スチームコンベクション）の導入について検討するとのことでした。